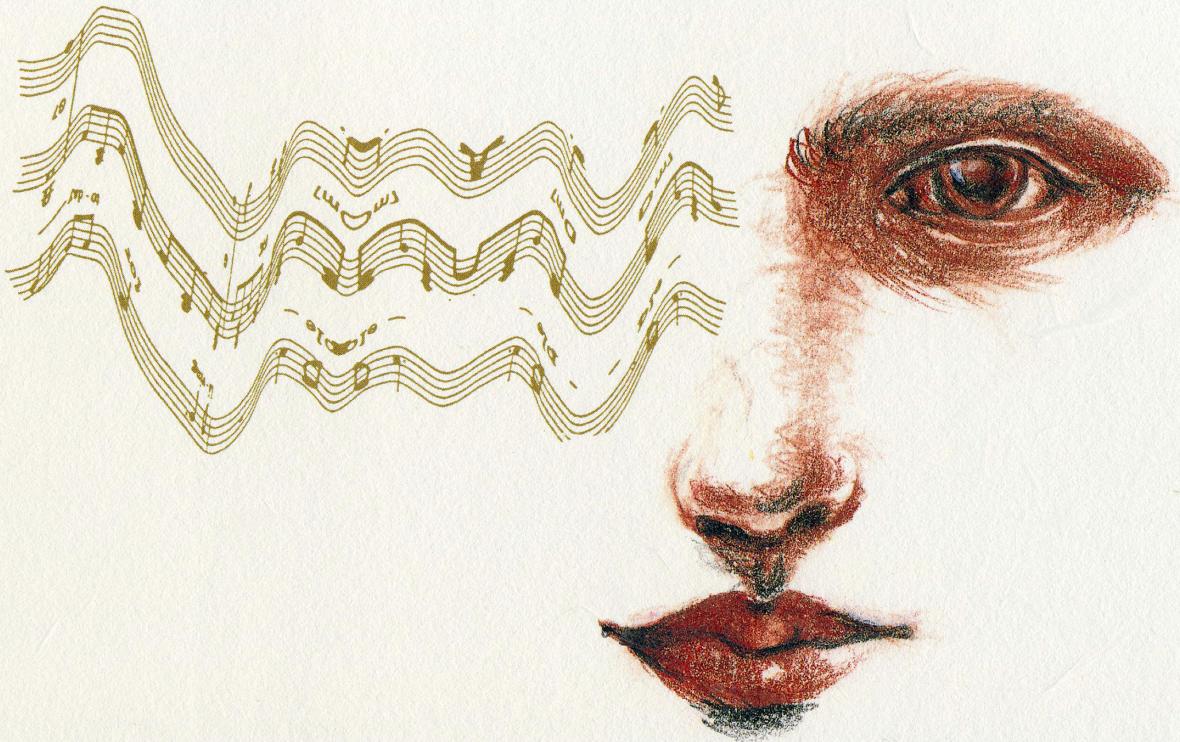


アーチャーの詩あしらひの詩



1999

社団法人 日本作詩家協会年刊詩謡集

きよの詩あしたの詩

社団法人 日本作詩家協会年刊詩謡集
1999年版

国境の崩れた音楽

会長 星野哲郎

音楽に国境はないという言葉があるが、昔は異なる言語を使う多民族が音楽を通じて一つになれるという、よき意味を持つていました。

しかし放送のデジタル化で世界のどこに居ても、どこかの国で放送される音楽を即時に聞ける、即時に録音、再生できる、著作権者にとつては危険な時代の訪れを言う言葉となりました。

先日、田舎の小学校に行きました。この学校はもう間もなく廃校になる私の母校なのですが、全校生徒が五名、先生が五名という学校の教室にコンピューターが六台セットされていて、子供たちはいつも簡単にそれを駆使して音楽を聞いたり、ゲームを楽しんでいるのを見て驚きました。

音楽に国境はない、誰もが簡単に世界と結ばれている現実を目にして考えさせられました。いまの我が国のデジタル技術をもつてすれば、誰がどこで、どういう音楽をいつコピーしたか、探索することは可能だと聞いております。

国境のなくなつた音楽にも権利は存在する筈です。速やかな対策が急がれる時だと痛感しました。権利者一同が一丸となつて著作権思想の普及につとめることがその第一歩であるように思います。

平成十一年十二月

目 次

(氏名 五十音順)

国境の崩れた音楽 会長 星野哲郎 一

冬 紅葉	青木 創	一六
白い蝶	赤坂 佳津子	一七
スズラン抱いた花嫁さん	明石紘美	一八
セピア色の愛	茜まさお	一九
雪 花菜	浩二	二〇
信濃慕情	秋篠さと	二一
勝手酒	秋田泰治	二二
花子です	山哲三	二三
雨上がり	明科昌門	二四
やじろべえ	三	二五
平成編 もしも月給が上がつたら	浅野淑恵	二六
港裏町かもめ唄	飛鳥井芳朗	二七
北追岬	アベ・イチロー	二八
ミズバショウ	荒川利夫	二九
大阪おばけ	荒木とよひさ	三〇
海女笛	有村季佑	三一
哀愁酒場	栗てるこ	三二
深川きつね	三三	三三
東京ボレロ	安藤潤	三四

男	船	飯	田	悠	介	三五
ツンツン大阪恋の町		飯	塚	義	美	三六
好きだよ漁師まち		生	田	恵	子	三七
薄紅の春		池	谷	ひろし	三八	
肱川慕情		生駒	かつゆき		三九	
昭和恋唄	よ	石	津	正道	四〇	
海の男		石	本	久仁雄	四一	
鍵は返して		石	本	美由起	四二	
夢さかずき		泉	の	ぼる	四三	
MY SECRET LOVE		い	その	あきお	四五	
母さん	ん	い	と	う	彩	四六
愛に生きて		伊	藤	一	生	四七
石に腰をおろして		伊	藤	久	子	四九
母の贈りもの		伊	藤	悟		四八
役者になればよかつた		井	上	裕	允	五一
家具職人		井	口	政	弘	五二
淡谷のり子さんへークイーン・ブルース	井	岩	田	道之輔		五四
新宿の母		村	幸	男		五五
むすめ火消し		碓	冰	夕	焼	五六
あなたへ		内	山	和	樹	五七
わたしは隠岐の女	宇都木	正	次			五九
風のタンゴ						

面影の花	おぼれ酒	心友歌	戻り波	小春日和	ときめき	こころの町	波崎海岸雪しぐれ	あり橋物語	こもんの音頭	恋待ち港	人生夢航路	狭けさ海峡	瀬戸内屋形舟	悠々人生ロスタイル	夫婦ごよみ	羽田ふれあい音頭	なまはげ	最後の涙	夫婦花	人に好かれる人となれ
恵谷	大石	大崎	大嶋	大前裕子	大森富士子	岡崎	岡崎	岡崎	小川妙子	小川豊	小川	香折雪絵	加藤市平	かとう	窯	かめいしきみこ	川村	川村	木立	
るり	武	三三子	陽央	裕子	富士子	惠	惠	惠	ゆき	豊	平	七	七	七	八	八	八	八	八	
六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七八	八〇	八一	八二	八三	

雨 や ど り	北 見 なぎさ	八五
雪 だ る ま	北 村 けいこ	八六
お く り も の	北 村 小 夜	八七
佐 賀 慕 情	北 村 英 明	八八
旅 は 心 の 糧 に な る	木 下 龍 太 郎	九〇
ひ と 夜 咲 き	木 下 由 紀 子	八九
春 香 伝 (李 朝 名 作 選 よ り)	貴 船 たゞし	九一
越 前 恋 人 形	木 村 賢 司	九二
俺 は 三 流 一 扇 之 助	木 村 壮 吉	九三
つ わ ぶ き の 花	久 仁 京 介	九四
お ん な じ ラ ジ オ に 耳 よ せ て	國 井 た だ し	九五
実 父 の 宴 酒	國 枝 星 志	九六
男 を だ ま し て 幾 年	國 田 和 男	九七
哀 愁 北 岬	黒 川 良 人	九八
雨 に 翔 ぶ 蝶	窪 田 和 男	九九
親 娘 花	幸 田 ゆうじ	一〇〇
あゝお か あ さ ん	甲 元 良 典	一〇一
鬼 ま つ り	小 島 高 志	一〇二
秋 保 恋 唄	小 島 哲 実	一〇三
人 生 に 涙 あ り	五 城 し げ み	一〇四
つ れ づ れ	こ だ ま	一〇五
お 疲 れ さ ん	ま さ こ	一〇六
男 の 真 情	小 林 い さ お	一〇六
こ の 空、こ の 海、独 り 旅	小 林 た け し	一〇七
北 海 す た ん 船	五 分 木 敦 美	一〇八
小 渕 洋 子	一〇九	

人 生 漁 場	小 宮 正 人	一一〇
せつせつせ	近 藤 英 子	一一一
染めぬいて	近 藤 しげる	一一二
仕舞い風呂	紺 野 あずさ	一一三
ときには野山の草花のように	斎 藤 葉 月	一一四
女の学校	さいとう 大三	一一五
スズラン恋歌	瑳 川 温 子	一一六
白 桔	梗 櫻 井 馨	一一七
七 夕 恋 唄	迫 櫻 井 馨	一一八
つ ま ず き	佐々木 ひさこ	一一九
大 軍 配	佐々木 昌 弘	一二〇
そよ風・恋風・風女	佐々木 安 伸	一二一
夫婦旅きずな	佐 田 英 介	一二二
二度目の人生	佐 東 たどる	一二三
改 札 口	佐 藤 ひでお	一二四
桃 花 流 水	佐 藤 秀千代	一二五
茜 の 海 峡	佐 藤 善 孝	一二六
津軽三味線ひとり旅	里 村 龍 一	一二七
男 の 花	椎 名 英威子	一二八
愛においでよ	志 賀 大 介	一二九
花 どろぼう	瑠 瓜 馨 子	一三〇
忘 郷	島 田 邦 博	一三一
宵待草が枯れるまで	志 摩 小五郎	一三二
男 の 嵐	下 地 亜記子	一三四
狭 霧 野		

男 の 挽 歌

下野 登美子 一三五

きみひとりでは泣かさない（学園歌）

白河時夫 一三六

乗りかえ駅

城岡れい 一三七

めおと店

しんのりよう 一三八

鎮守の杜

新保治平 一三九

飾らない生き方がいい

末次正蔵 一四〇

愛のシルエット

菅野政義 一四一

吾が故郷は甲斐のくに

鈴木亜依 一四二

浪花の男

鈴木紀代 一四三

キャンバス通り

鈴木清子 一四四

哭く海

鈴木昭一 一四五

負けて勝つ

鈴木信子 一四六

夕化粧

鈴木れい子 一四七

亭主とだんなとパパにオジサマ

須田厚子 一四八

海岸行き線

須田茂樹 一四九

富士見街道

関口義明 一五〇

最後の夏

妹尾恵美子 一五一

ひととせの夢

曾我幸義 一五二

願い事

園さちこ 一五三

下町无情

たか正美 一五四

人生道（みち）

木一男 一五六

愛のモノローグ

高田れい子 一五六

寒牡丹

高塚和美 一五七

雪燃える

高野礼子 一五八

ほろり酒

高橋耕作 一五九

奄美恋唄	高橋	たけお	一六〇
い ろ り	高橋	直人	一六一
辛棒三年我慢で五年	高橋	ひでお	一六二
かもめ唄伝	高橋	ゆきを	一六三
春待ち岬	高畑	和之	一六四
北国夜行	高畠	じゅん子	一六五
京都恋歌	高林	こうこ	一六六
盛り場演歌	高安	弘	一六七
ずっとあんたに惚れてます	多岐川	まさし	一六八
祭りの宿	滝田	常晴	一六九
榆の落葉	たきの	えいじ	一七〇
花火きらり	たぐ	わん	一七一
私の彼は雨おとこ	田々	じゅん	一七二
面影偲んで	立川	加根依	一七三
鎌倉慕情	田中	いぶき	一七四
流転遙か	田中	砂千雄	一七五
終止符(ピリオド)	たなか	ゆきを	一七六
傷痕	千郷	一七七	
お目出たや節	谷口	一七七	
リストラ酒場	多野	亮	一七八
こゝろの鈴	玉利	要	一七九
たけくらべ	千葉	一八〇	
工ラ	千秋	和男	一八〇
夜霧の慕情	幸雄	要	一八一
岩魚	一	一八二	
辻	津岡	政信	一八三

才ホーツク海道	対馬慎一郎	一八五
ぐれん華	土川賢一	一八六
さよならはめぐり逢い	土田有紀	一八七
雨が降る	土屋正敬	一八八
女かつぼれ	つるぎ	まさる
生きてまたもや	照沼	一九〇
化粧前	天間館	武美
風の岬	戸川	智砂子
一緒に暮らして	豊岡敏	一九三
命ぬけがら	鳥羽貞子	一九四
悲恋	中程しま子	一九五
北恋情話	中村美智子	一九六
人生大逆転	中山よしかず	一九七
涙の傘	長山たかのり	一九九
芸道無限	那須野巖	二〇〇
母さんごめんね	南部柔心	二〇一
一 夜 花	仁井谷俊也	二〇二
ちょうどいい人	清	二〇三
SYOGUN (将軍)	贊田	二〇四
抱きしめたい	西本健郎	二〇四
やぶから棒に	淳	二〇六
祈り月	沼川陽	二〇五
どうなつてるの	野沢喜久男	二〇七
幸福へのFANTASY	能勢英男	二〇八
兜	三	二〇九

似合いの夫婦	ハギワラ 照生	一一〇
風ほたる	羽澤文子	一一一
一週間は七日です	八田 満	一一二
三十三間堂棟由来	花田 ひろし	一一三
棟梁（大工）	浜 真佐戸	一一四
浅草の鬼灯市	浜 岡三郎	一一五
おきざり	はらあきら	一一六
女惚れ酒	原 こうじ	一一七
大阪の星	文彦	一一八
潮時	はらやすし	一一九
母恋情話	樋口智生	一二〇
めぐり逢いの天使たち	平井健一	一二一
風は知らない	一ツ橋雪	一二二
今だからこそ生きる希望を	福田一	一二三
冬子のなみだ	藤岡和子	一二四
浪花の阿呆	宮二	一二五
酔いどれ小唄	霧子	一二六
津和野路ひとり	古江八恵子	一二七
ふるさとがやつてきた	星合節子	一二八
遠きあの日に	保志乃朱里	一二九
信天翁（アルバトロス）	星野哲郎	一三〇
誰故草	五郎	一三一
青春ふたたび	本間繁義	一三二
マザーコンプレックス・ララバイ	映二	一三三
夢の華	正木のりゆき	一三四

捨てた女の誕生日	松井	眞佐子	二三五
ほころび	松	井由利夫	二三六
雪	松	生和彦	二三七
夢訪人	松	本静	二三八
夢を奏でて	松	本眞二	二三九
ひと恋岬	松	本撮子	二四〇
失恋酒場	三井田	博	二四一
親父の酒っこ	三浦清二	二四二	二四三
梅にうぐいす花に蝶	三浦康照	二四三	二四四
京：恋つむぎ	みおこうすけ	二四五	二四五
ノクターン（夜想曲）	美貴裕子	二四五	二四五
夢おんな	木政和	二四六	二四六
北の始発駅	三里	こうじ	二四七
遠ざかる秋	美嶋景	二四八	二四八
泣かせ酒	水木れいじ	二四九	二四九
玄倉川哀歌	水星圭子	二五〇	二五〇
ルール違反	早苗	二五一	二五一
情熱の夢	南澤哲也	二五二	二五二
私は酒場の螢草	由一	二五三	二五三
母に似て	峰よし	二五四	二五四
東京へ帰る人	宮内たけし	二五五	二五五
別れのカセットテープ	三宅立美	二五六	二五六
妻恋い 大漁歌	宮崎テルミ	二五七	二五七
艶夜 恋かるた	みやの舞	二五八	二五八
女は男の守り神	宮原哲夫	二五九	二五九

惚れたらあかん	あかねさす	相聞歌	紫野ゆき	深山静華	二六〇
回顧展	本	室井昭弘	深山静華	二六一	二六一
女の津軽	森	池省三	えい美	二六二	二六二
岐阜ふるさと音頭	森	えい美	二六三	二六三	二六三
岬の女よ	森田	えい美	二六四	二六四	二六四
高山まつり	木	木吾郎	二六五	二六五	二六五
飯倉の女	坂	坂秀司	二六六	二六六	二六六
季節の恋唄	坂	坂みやび	二六七	二六七	二六七
さよなら海峡	矢	坂ま一央	二六八	二六八	二六八
元気一番	八	坂義純	二六九	二六九	二六九
北國ばなし	山	北由希夫	二七〇	二七〇	二七〇
ああ薩摩隼人	山	崎文恵	二七一	二七一	二七一
返り花	山	崎有道	二七二	二七二	二七二
出逢い花	山	下耕一	二七三	二七三	二七三
夢恋船	山	晃一	二七四	二七四	二七四
好きな色どんな色	山	田孝雄	二七五	二七五	二七五
男の漁場	山	田那津子	二七六	二七六	二七六
ふたりのタンゴ	山	田博康	二七七	二七七	二七七
知つているのよ	山	田由紀	二七八	二七八	二七八
やさしいもん	山	湯川由美	二七八	二七八	二七八
スイスから君を想う	山	森川れい子	二八〇	二八〇	二八〇
ぬくもりをありがとう	湯川由美	横森葉子	二八一	二八一	二八一
夜のシルエット	横森葉子	越前岬慕情	二八二	二八二	二八二
よしだ純	二八三	二八四	二八三	二八三	二八三

表題
紙字

吉星野哲郎

絵島	生島	吉田							
浪花	想い出雨	よし子							
焦	がれ月	二八六							
北	の海	二八七							
四	捨五入	二八八							
おけさ	ロツク	二八九							
秋	雨橋	二九〇							
北	の港宿	二九一							
な	みだ川	二九二							
渡	渡	二九三							
邊	辺	二九四							
智	螢	二九五							
英	雪	二九六							